

湧別川水系河川整備計画【国管理区間】(原案)に
寄せられたご意見について

関係住民からの意見募集の状況①

■河川整備計画(原案)の縦覧

【縦覧期間】 平成22年7月5日(月) ~ 平成22年7月30日(金)

【縦覧の周知方法】 ・遠軽町広報誌、湧別町広報誌内チラシ(全戸配布)
・網走開発建設部ホームページ

【縦覧箇所】 ・遠軽町(遠軽町役場建設課、生田原支所産業課、丸瀬布支所産業課、白滝支所産業課)
・湧別町(湧別町役場建設課、総合支所建設水道課)
・北海道開発局網走開発建設部(治水課、網走西部河川事業所)

【意見数】 4件(遠軽町1件、湧別町3件)

■河川整備計画(原案)に関する地域説明会

【開催日・場所】 ・平成22年7月13日(火)
遠軽町福祉センター(参加者4名)



・平成22年7月14日(水)
湧別町文化センターTOM (参加者16名)



関係住民からの意見募集の状況②

■河川整備計画(原案)に関する公聴会

【開催日・場所】 平成22年8月4日(水) 遠軽町保健福祉センター げんき21

【公述人】 3名

【傍聴者】 20名



寄せられたご意見(原文) ①

1) 遠軽町在住

1 意見

(1) 大排水溝の避門の増設

- ★東町1丁目から湧別川に抜ける避門の増設が急務である。
- ★現在位置の避門は直角に曲がって湧別川に向かうので、水量が一気に増えると曲がりきれずに決壊する可能性が大である。平成に入ってからでも、何度か直通で溢れ出ている実態もある。
- ★大排水溝を堤防沿いにまっすぐ流し、生田原川に抜く避門を増設することでかなり解消できると思われる。
- ★この地域は、川が溢れる寸前でも、水洗トイレの逆流、マンホールの吹き出し、半地下室への浸水等があり雨の度に切実な問題となっている。
- ★避門を閉めることになれば、百数十戸はたちまち床上浸水となる恐れがある。
- ★避門を閉めるときには、町の対応として建設用のポンプ3台を設置する予定と数年前の説明であったが、避門閉鎖の水量を考えると、ポンプ3台程度ではとうてい及ぶものではないことは常識的に考えても明らかである。洪水対策とは考えられない。

(2) 40号線、41号線及び更に上流で生田原川に水路を抜く。

- ★オホーツク総合振興局でも生田原川の河川改修計画が実施されているので、早急に両者で検討し、実施に漕ぎつけて欲しい。
- ★大排水溝の最終管理は、開発局にあるはずですので早急に対処し善処して欲しい。

(3) 湧別川・生田原川の水位が大排水溝より上がらない対策
川幅を広げる、川底を掘り下げるなど。(4) 大排水溝自体の構造を抜本的に改善する。
上流でも何カ所も溢れる形態になっている現状を分析し、専門的な視点で抜本的に改善することが急務である。

以上4点であるが、地域住民が救われる所に整備計画の視点をおいて、対応してください。

2) 湧別町在住

基本方針で「水源から河口まで一貫した計画のもとに(中略)総合的な保全と利用を図る」とされていますが、整備計画原案は河口から31.5キロメートル上流までの大臣管理区間に限られたものとなっていて、治水や利水という点からは人口や産業が集中するこの区間に重点を置いた整備計画となることは理解をしますが、自然豊かな環境を保全、継承する川づくりのためには集水域全体を通じた動植物の生態系に配慮した計画となることを望みます。

「かつての良好な河川環境の再生」が基本方針に述べられていますが、湧別川流域には利水のための堰やダムなどがたくさんあり、本来源流部まで川を遡る種類の魚にとって良好な状態といえない環境にあります。過去のどの時点の河川環境を良好と評価検討されるのが重要だと思います。また魚道の整備に関しては小型の泳力が弱い魚類が増水時でも容易に遡上できるような配慮が必要と考えます。

さらに、湧別川上流の白滝市街周辺では在来種と外来種のニジマスの繁殖やヤマベとの交配が心配され、支流の武利川ではオショロコマが生息する上流域で観光を目的とした釣り大会のためニジマスが放流されていて、下流のダム湖ではウチダザリガニも確認されている状況にあります。

このようなことから、整備計画における環境分野は管理区間を限定することなく流域全体のあるべき姿を反映したものとなることを希望します。

3) 湧別町在住

湧別川にはたくさんの橋がかかっていますがカヌーで川を下ったり釣りなどで利用する際、橋の名前や次の橋までの距離、河口までの距離などの情報が川の上流側から見えるように書かれた川の道路標識があると便利だと思います。

寄せられたご意見(原文) ③

4) 湧別町在住

1. 意見

上流は遠軽町白滝、丸瀬布、遠軽。支流の生田原川が流れる生田原。湧別川が取水した水を飲んでいる下流域の湧別町。河口から海へ流れた養分で育った魚貝を食べて暮らす湧別川流域の3万6000人。だから湧別川水系河川整備計画は上流から下流と海までを含めた連携が必要だと思います。
(別紙へ)

(別紙)

そこで長年、湧別川沿いに暮らしてきた者としての疑問ですが、瀬戸瀬ダムは役割りについてです。私自身も理解できていませんでしたが、治水ダムと利水ダムの違いについて。多くの町民、民間人が理解してないと思われまふ。瀬戸瀬ダムは大雨の時、下流域を守る役目も果たしている。という誤解を持つ方が少なくないと思ひます。

次に網走管内の他の一級河川と比べた場合に、例えは築堤を舗装したサイクリングロードなど、湧別川と関わりを持つ場所が少なうに思ひます。

そして自然動植物ですが、湧別川には多くの魚が生息しています。近くに任せていても意外とわかっている。湧別川は近くに流れる川という意識しかありません。ここに行けば湧別川のことか分かる。という場所があるといいかな。と思ひます。

以上から3つの意見ですが

1. 治水ダムと利水ダムの相違の周知
2. 築堤先端のアスファルト舗装化した利用
3. 例えは道の駅に湧別川のコーナの設置

以上です

① 治水

(内水被害の防止について)

- 意見1) 東町1丁目から湧別川に抜ける樋門の増設が急務である。35号樋門付近の排水路が直角に曲がっており、内水氾濫が起こる可能性がある。この地域ではこれまでも洪水時に水洗トイレの逆流やマンホールの吹き出しなどの問題が生じている。
- 意見2) 洪水時に樋門を閉めれば近隣の数百戸はたちまち床上浸水となる恐れがあり、設置予定の建設用ポンプ3台ではとうてい対応できるとは思わない。生田原川に抜く樋門や排水溝を設置するなどの対応が有効ではないか。
- 意見3) 湧別川や生田原川の水位が東町1丁目付近の排水溝より上がらないよう川幅を広げたり川底を掘り下げる等の対策をしてほしい。
- 意見4) 東町1丁目付近の排水溝について、上流側で何カ所も溢れる形態になっているため、専門的な視点で排水溝自体の構造を抜本的に改善してほしい。

② 利水・環境

(上流から下流までの一貫した河川整備について)

意見5) 自然豊かな環境を保全、継承する川づくりのためには集水域全体を通じた動植物の生態系に配慮した計画となることを望む。

意見6) 遠軽町、湧別町に暮らす湧別川流域住民は、湧別川から取水した水を飲み、また河口から海へ流れた養分で育った魚介類を食べている。だから整備計画は上流から下流と海までを含めた連携が必要だと思う。

意見7) 整備計画における環境分野は管理区間を限定することなく流域全体のあるべき姿を反映したものとなることを希望する。

(河川整備の目標について)

意見8) 「かつての良好な河川環境の再生」が基本方針に述べられているが、湧別川流域には利水のための堰やダムなどがたくさんあり、本来源流部まで川を遡る種類の魚にとって良好な状態とはいえない環境。過去のどの時点の河川環境を良好と評価検討されるのかが重要と思う。

② 利水・環境

(小型魚類の遡上への配慮について)

意見9) 魚道の整備に関して、小型の永力の弱い類が増水時でも容易に遡上出来るような配慮が必要と考える。

(外来種について)

意見10) 湧別川上流の白滝市街周辺や支流の武利川で外来種のニジマスが確認され、また下流のダム湖ではウチダザリガニも確認されており、在来種への影響が心配される。

③ 維持管理

(河川利用について)

- 意見11) カヌー下りや釣りで利用する際に、橋の名前や次の橋までの距離、河口までの距離などの情報が川の上流側から見えるように書かれた標識があると便利だと思う。
- 意見12) 網走管内の他の一級河川と比べた場合に、例えば築堤を舗装したサイクリングロードとしての利用など、湧別と関わりを持てる場所が少ないと思う。

(河川情報の周知について)

- 意見13) 瀬戸瀬ダム役割について、治水ダムと利水ダムの違いを理解していない人が多いと思うので周知してほしい。
- 意見14) 湧別川には多くの魚が生息しているが、近くに住んでいても意外とわかっていない。例えば道の駅に湧別川のコーナーを設置するなど、ここに行けば湧別川がわかるという場所があると良いと思う。